

第1回 名古屋港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

1 日時

令和5年9月13日（水） 10:00～11:00

2 場所

名古屋港湾会館 第1会議室（Web 併用）

3 議事概要

（1）名古屋港港湾脱炭素化推進協議会の設置について

「名古屋港カーボンニュートラルポート（CNP）形成協議会」を移行する形で、「名古屋港港湾脱炭素化推進協議会」を設置した。

協議会の設置に当たり、協議会規約を定めるとともに、座長には名古屋工業大学大学院 秀島栄三教授を選出した。

（2）港湾脱炭素化推進計画について

事務局より、港湾脱炭素化推進計画の概要と記載する事項について説明した。

（3）名古屋港港湾脱炭素化推進計画の骨子と考え方について

事務局より、名古屋港港湾脱炭素化推進計画の策定に当たり、名古屋港 CNP 形成計画を反映するとともに、計画の目標、港湾脱炭素化促進事業等について、検討を深めていく旨を説明し、協議を行った。

また、港湾脱炭素化促進事業については、構成員を中心にアンケート・ヒアリングを通して計画に位置付けていくことを説明し、協議を行った。

なお、今年度末を目途に計画を公表していくことを説明した。

4 構成員等からの発言要旨

○計画の策定後、社会情勢の変化によって、計画の目標（KPI 等）を見直すのか。
また、計画の目標が達成できなかった場合、どのような対応が求められるのか。

○短期目標 2025 年に向けての脱炭素化の取組について、アンケート・ヒアリングから得られる見通しはあるか。

- 港湾脱炭素化促進事業を計画に位置付けることで得られる国からの支援措置は何かあるのか。
- 港湾脱炭素化促進事業を計画に位置付けるに当たっては、具体的な記載が求められるが、将来の構想については、どこまで具体的な記載が求められるのか。
- 現時点における脱炭素化の取組だけでは、計画の目標を達成できないと考えられる。今回策定する計画が実効性のあるものとなるよう、今後検討することが重要である。
- CO₂ 排出量の推計、CO₂ 吸収量の推計、水素等の需要について、計画の対象地域を明確にすること。

以上